



2014年3月20日

国際森林製紙団体協議会（ICFPA）

世界の林産品産業は国際森林デーをお祝いします

国際森林製紙団体協議会（ICFPA）は明日3月21日の国連国際森林デーをお祝いします。森林の重要性に対する意識を高める記念日に、ICFPAは世界の林産品産業の持続可能な発展への貢献についてご紹介できることを光栄に思います。

何世紀にもわたり、人類は森林からモノを作り、生活の向上やニーズに対応してきました。森林は再生可能です。目まぐるしく変化する今日の世界においても、森林は食糧や燃料、紙製品、木材、薬など今日及び将来世代の生活の質を向上させる生活必需品に対するニーズを満たすために欠かせない存在です。

ICFPA 会員団体は世界中で持続可能な森林経営を支援しています。ICFPA はまた、環境・社会・経済目標を満たす森林経営及び生産活動を行うことを約束しています。

ICFPA 理事長のドナ・ハーマンは次のようにコメントしています。「持続可能な森林経営は重要な戦略であり、発展のチャンスです。持続可能な森林経営によって、林産品産業は森林そして林産品の多面的効果を高めることができると同時に、増大する世界の木材繊維需要を満たすことができます」

また、世界の林産品産業は違法伐採並びに違法に伐採された木材の国際貿易に対処することを約束しています。ICFPA 会員団体は、各国政府や環境団体、地域団体と協力し、違法に伐採された木材の取引を禁止する政策・法規の実施に取り組んでいます。

ICFPA が2013年に発表した第4回サステナビリティ・プロGRESS・レポートでは、世界の林産品産業の主要なサステナビリティ指標における進捗状況について紹介しています。その中で、森林認証取得面積の拡大、温室効果ガス排出原単位の削減、エネルギー消費に占めるカーボンニュートラルであるバイオマスエネルギーの割合増大、古紙リサイクル率の上昇が明らかになっています。

ICFPA は世界30カ国以上の木材・製紙業界団体によって構成されている国際業界団体で、会員合計で世界の紙・板紙生産量の約90%、木材生産量の60%を占めています。

世界の林産品産業のサステナビリティについて、詳しくは ICFPA のウェブサイト ([www.icfpa.org](http://www.icfpa.org))  
をご覧ください。